

総合殺菌剤

農林水産省登録 第18751号

日曹

フロンサイド® SC

広く守り、強く攻める!

—すべては実りのために。—

フロンサイドは石原産業(株)の登録商標

根こぶ病をはじめ、広範囲の病害から大切な作物を守ります。

適用病害と使用方法 (一部抜粋)

作物名	適用病害名	希釈倍数(倍)	10アール当り 使用用量(ℓ)	使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	フルアジナムを含む 農薬の総使用回数	
小麦	紅色雪腐病 雪腐大粒菌核病 なまぐさ黒穂病	1000	60～150	根雪前	2回以内	散布	3回以内 (は種前は1回以内、 は種後は2回以内)	
	雪腐小粒菌核病	1000～2000						
		250 500	25					
ばれいしょ	疫病	1000～2000	100～300	収穫7日前まで	4回以内	散布	6回以内 (種いも浸漬は1回以内、 植付前の土壌混和及び植付時の 植溝散布は合計1回以内、 植付後の散布は4回以内)	
	疫病 菌核病							
	夏疫病	2000						
	そうか病	100	—	植付前	1回			種いも瞬間浸漬
かんしょ	基腐病	1000	100～300	収穫30日前まで	2回以内	散布	3回以内 (植付前は1回以内、 植付後は2回以内)	
やまのいも	葉渋病	2000		収穫7日前まで	4回以内		5回以内 (植付前の土壌混和は1回以内、 植付後の散布は4回以内)	
やまのいも(むかこ)							4回以内	
ごぼう	黒条病	1000		収穫21日前まで	3回以内		3回以内	
食用ゆり	葉枯病			収穫14日前まで	6回以内		8回以内(球根瞬間浸漬は 2回以内、散布は6回以内)	
	鱗茎さび症	50	—	植付前	2回以内	球根瞬間浸漬		
あずき	炭疽病 灰色かび病	1000～2000	100～300	収穫21日前まで	3回以内	散布	3回以内	
	菌核病	1000						
	いんげんまめ	炭疽病 灰色かび病		1000～2000				収穫7日前まで
菌核病		1000		収穫14日前まで				
べにはないんげん	灰色かび病							
にんじん	黒葉枯病							
たまねぎ	乾腐病	50	—	定植直前	1回	5分間苗根部浸漬	7回以内 (全面土壌混和は1回以内、 苗根部浸漬は1回以内、 散布は5回以内)	
	灰色腐敗病 べと病 灰色かび病	1000～2000	100～300	収穫3日前まで	5回以内	散布		
	灰色かび病	250～500						25
	白色疫病	1000	100～300					
	褐斑病	1000～2000						収穫30日前まで
根腐病	1000							
黒根病	100	3ℓ/㎡	移植前	1回	苗床土壌灌注			
いちご	炭疽病	1000	50㎖/株	育苗期	1回	灌注	1回	
アスパラガス (露地栽培)	茎枯病 斑点病	2000	100～300	収穫終了後 但し、秋期まで	5回以内	散布	5回以内	
ゆり	茎腐症 (リゾプス菌による)	500	3ℓ/㎡	定植後	2回以内	土壌灌注	3回以内	

作物名	適用病害名	10アール当り使用量		使用時期	本剤の 使用回数	使用方法	フルアジナムを含む 農薬の総使用回数
		薬量 (mℓ)	希釈水量 (ℓ)				
はくさい	根こぶ病	500	100～200	定植前	1回	全面散布土壌混和	2回以内
	尻腐病 軟腐病				1回	全面土壌散布	(土壌混和は1回以内、 土壌散布は1回以内)
キャベツ	根こぶ病			は種又は 定植前	2回以内 (苗床では1回以内、 本圃では1回以内)	全面散布 土壌混和	3回以内 (苗床では1回以内、 本圃での土壌混和は1回以内、 土壌散布は1回以内)
	苗立枯病 (リゾクトニア菌)				全面土壌散布		
	菌核病						
株腐病	150～200	定植前					
ブロッコリー	根こぶ病	100～200		1回	全面散布 土壌混和	1回	
カリフラワー							
かぶ							
だいこん	亀裂褐変症 (リゾクトニア菌)						
レタス	ビッグベイン病 すそ枯病			定植前			1回
非結球レタス	すそ枯病、軟腐病		1回	全面土壌散布	2回以内 (土壌混和は1回以内、 土壌散布は1回以内)		
ばれいしょ	粉状そうか病	400～600	20	植付前	全面散布 土壌混和	6回以内 (種いも浸漬は1回以内、 植付前の土壌混和及び植付時の 植溝散布は合計1回以内、 植付後の散布は4回以内)	
	粉状そうか病 そうか病	200		植付時	植溝散布		
かんしょ	基腐病	500	50～200	植付前	全面散布 土壌混和	3回以内 (植付前は1回以内、 植付後は2回以内)	
やまのいも	褐色腐敗病		100～200		全面土壌散布		
小麦	縞萎縮病	600	100	は種前	全面散布 土壌混和	5回以内 (植付前の土壌混和は1回以内、 植付後の散布は4回以内)	
	なまぐさ黒穂病	3回以内 (は種前は1回以内、 は種後は2回以内)					
チューリップ	微斑モザイク病 条斑病	500	100～200	植付前		7回以内	

●使用前にラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。※空容器は圃場などに放置せず、3回以上水洗し、適切に処理してください。

日曹
フロンサイド[®]
SC

殺菌剤分類 29

有効成分:フルアジナム…39.5%
人畜毒性:普通物
(毒劇物に該当しないものを指している通称)

使用上の注意事項 (一部抜粋)



- 使用直前に容器をよく振ってください。
 - 本剤は保護効果主体の薬剤であり、病原菌に感染した後の散布では効果が不十分な場合があるので散布時期に注意してください。
 - いちごに使用する場合、新葉に葉害を生じるおそれがあるので注意してください。
 - きゅうり、レタス等には葉害を生じるおそれがあるので、周辺にそれらの作物がある場合にはかからないように注意してください。
 - 全面散布土壌混和で使用する場合、所定量の薬量を均一に散布し、土壌と十分混和してください。降雨直後の処理は、混和むらの原因となるのでさけてください。
 - 根こぶ病対象に本剤を多量に使用すると初期生育が抑制される場合があるので、適用薬量の範囲で使用してください。
 - 全面土壌散布で使用する場合は、畦立て作業後に所定量の薬量を均一に散布してください。
 - キャベツ、はくさい、レタス及び非結球レタスの全面土壌散布では、初期生育の遅延を生じることがありますが、その後回復し、作物の生育、収量に影響はありません。(定植後の多雨または過度の灌水条件で発生しやすい)
 - だいこんに使用する場合、初期生育の遅延を生じることがありますが、その後の生育には影響しません。
 - 小麦、ばれいしょ、たまねぎに対して少量散布で使用する場合は、少量散布に適したノズルを装着した兼用型の速度連動式地上液剤散布装置を使用してください。
 - 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に葉害の有無を十分確認してから使用してください。
 - 本剤の使用に当たっては、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
 - 本剤は皮ふ感作性があり、皮ふかぶれ等を起こすことがあるので、使用前にはラベルをよく読んでください。
 - 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。
 - 本剤は眼及び皮ふに対して刺激性があるので薬剤が眼に入ったり、皮ふに付着しないよう注意してください。眼に入った場合は直ちに十分に水洗し、眼科医の手当を受けてください。皮ふに付着した場合は直ちに石けんでよく洗い落としてください。
- 魚毒性等:
- ・水産動植物(魚類)に強い影響を及ぼすおそれがあるので、河川、湖沼及び海域等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。養殖池周辺での使用はさけてください。
 - ・水産動植物(甲殻類・藻類)に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
 - ・使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。
 - ・浸漬後の薬液は河川等に流さず、水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。



殺菌剤

日曹 フロンサイド® SC
(フロアブル)

有効成分：フルアジナム…39.5%

人畜毒性：普通物（毒劇物に該当しないものを指するという通称） ®は登録商標

殺菌剤分類

29

適用病害と使用方法＜抜粋＞

作物名	適用病害名	10アール当り使用量		使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルアジナムを含む農薬の総使用回数
		薬量	希釈水量				
かんしょ	基腐病	500mL	50～200L	植付前	1回	全面散布 土壌混和	3回以内 (植付前は1回以内、 植付後は2回以内)
						全面土壌散布	

作物名	適用病害名	希釈倍数	10アール当り 使用液量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	フルアジナムを含む農薬の総使用回数
かんしょ	基腐病	1000倍	100～300L	収穫30日前まで	2回以内	散布	3回以内 (植付前は1回以内、 植付後は2回以内)

⚠ フロンサイドSC 使用上の注意事項（抜粋）



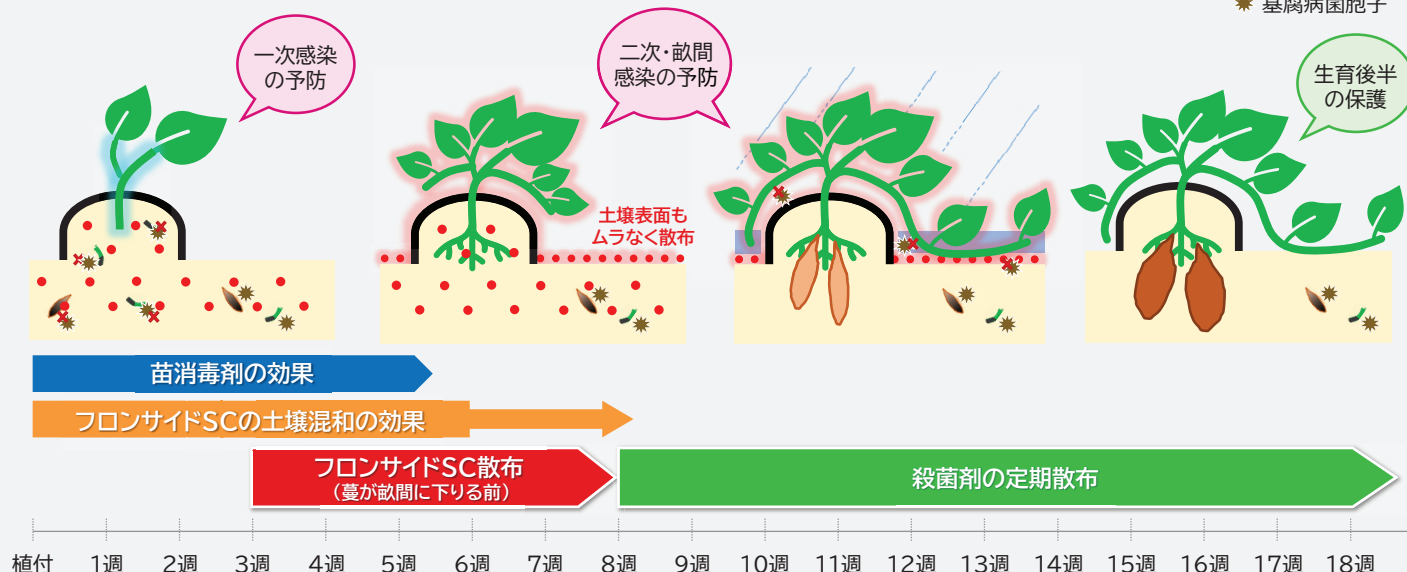
- 全面散布土壌混和で使用する場合、所定量の薬量を均一に散布し、土壌と十分混和してください。降雨直後の処理は混和むらの原因となるのでさけてください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
- 本剤は皮膚感受性を有し、皮ふかぶれ等を生じることがあるので、以下の点に注意してください。
 - ・ 高温、多湿時に長時間の使用及び作業はさけてください。
 - ・ かぶれやすい体質の人及び本剤又は他剤においてかぶれた経験のある人は作業に従事しないようにし、施用した作物等との接触はさけてください。
 - ・ 使用した後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
 - ・ 薬液調製時および使用の際は帽子、保護メガネ、防護マスク、不浸透性手袋、不浸透性防除衣、ゴム長靴などを着用するとともに保護クリームを使用してください。
 - ・ 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。



日本曹達株式会社

薬剤の処理タイミングと効果のイメージ（一例）

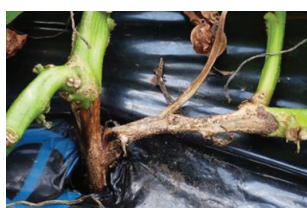
前年の罹病残渣
フロンサイド
基腐病菌孢子



おすすめの散布タイミング

二次感染予防には、植付後3～8週目頃（蔓が畝間に下りる前）の散布が有効です。使用方法に関しては、各地指導機関の方針に従ってください。

★畝間の病原菌に汚染された土壌からも感染が生じるため、株・株間・畝間土壌を含む全面に均一に散布してください。



基部感染



畝間感染

！フロンサイドSC散布に際しての注意！

- 皮膚かぶれを生じるおそれがあるため、散布後に畑に入る際はできる限り期間を空けてください。（目安：7～10日間）
- 基腐病発病株の抜き取りをする場合は、必ず**散布前**に行ってください。
- 無人航空機散布（ドローン等）はしないでください。

サツマイモ基腐病 委託試験成績(散布)

試験場所 鹿児島県農業開発総合センター（2022年）

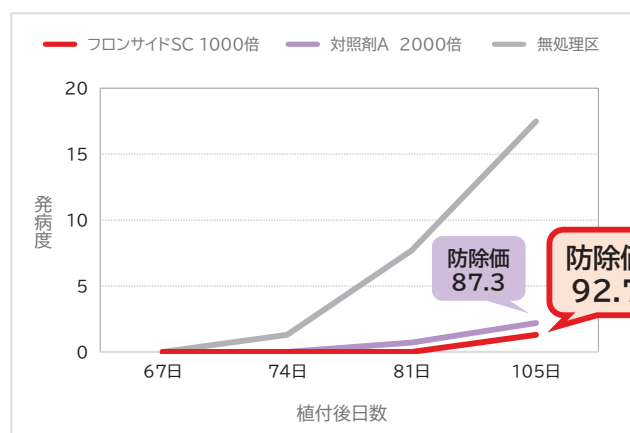
品 種 コガネセンガン

発生程度 中発生

植付日 5月20日

処理日
・フロンサイドSC
6月23日、7月7日（植付5, 7週後）の計2回
・対照剤A
6月23日、7月7日、21日（植付5, 7, 9週後）の計3回

調査方法 初発前は植付後から7日間隔、初発確認後は植付74, 81, 105日後に、各区同一の26～30株に対して株基部の見取りによる発病状況を調査し、発病株率、発病度を算出した。



本資料は2023年6月現在の登録内容に基づいています。

●使用前にラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●本剤は小児の手の届く所には置かないでください。※イラストはイメージです。



日本曹達株式会社

〒100-8165 東京都千代田区大手町2丁目2番1号
お問合せ (03) 3245-6178
(平日9～12時、13～17時、土日祝祭日を除く)



最新の登録内容、
SDSはこちら

No.651-23061BJ